

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00176 )

事務事業名称	障害者の社会参加支援				款 04 項 01 目 03 事業 004	整理番号	182
現担当課名	障害者施策課	係名	管理係	連絡先電話番号	1139	昨年度整理番号	184
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実				予算事業区分	既定事業	
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標 04 施策 16	計画事業 03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )		
令和 2年度担当課名	障害者施策課				事業評価区分	一般	

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者 など	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	移動支援事業利用者数 移動支援事業年間実利用者数 移動支援事業延利用時間数 移動支援事業年間延利用時間数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	屋外での移動困難な障害者の社会参加を促すためガイドヘルパーを派遣する。社会参加促進事業 ( 各種講習会、自動車改造費助成等 )、意思疎通支援 ( 手話通訳者・要約筆記者派遣等 )、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上でサービスを給付または助成する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	手話通訳者・要約筆記者派遣回数 手話通訳・要約筆記者を派遣した回数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	878	1,165	922	1,230	813	1,300	66.1	93.3
活動指標 ( 2 )	2 時間	152,973	153,000	152,957	163,716	123,817	163,716	75.6	
成果指標 ( 1 )	3 回	1,187	1,300	1,288	1,300	1,006	1,300	77.4	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	501,745	549,967	518,054	466,036	434,711	566,668	特記事項 新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛の影響により、移動支援事業利用実績、経費とも元年度に比べ大幅な減となりました。	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
( 内 ) 委託費	7 千円	477,322	524,531	492,850	440,404	411,189	540,936		
職員数	8 人	3.99	3.89	4.98	4.79	6.19	5.61		
上記以外の職員	9 人	3.50	3.00	3.00	3.00	2.00	3.15		
人件費	10 千円	33,620	32,777	43,416	41,759	51,519	46,587		
上記以外の職員	11 千円	10,812	9,267	9,240	9,240	7,256	11,428		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	546,177	592,011	570,710	517,035	493,486	624,683		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	622,069	508,164	618,991	420,354	606,994	480,525		
財源	14 千円	1,994	2,420	1,733	2,499	1,600	2,578		
国からの補助金等	15 千円	139,186	151,061	143,775	155,781	149,008	163,006		
都からの補助金等	16 千円	78,914	85,613	81,789	77,891	82,746	92,274		
その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	220,094	239,094	227,297	236,171	233,354	257,858		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	326,083	352,917	343,413	280,864	260,132	366,825		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.4	0.4	0.3	0.5	0.3	0.4		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 182

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	移動支援事業委託	73,332	回	398,509
	手話通訳者・要約筆記者派遣	1,006	回	7,825
	地域活動支援センター事業 ( 運営：直営1所、補助事業所1所 ) の実施	2	所	22,490
	その他 ( 自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか )			5,887
事業実績	<p>移動支援事業の登録者数は令和元年度に比べ1,159人と10人増えましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛の影響から、利用人数は813人で109人の減、年間延利用時間は123,817時間で29,140時間の減となりました。個々の状況に応じた支援ができるよう、移動支援事業の対象者や支援内容の見直しなどを行い、令和3年度からの実施に向けた準備を行いました。</p> <p>手話通訳者等の派遣件数は、コロナ禍による講演会や説明会などの中止等により、令和元年度と比較して2割 ( 282件 ) の減少となりました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>平成18年10月の障害者自立支援法の施行に伴い、障害者関連の事業が再編され、新たな事業として開始しました。平成25年4月に障害者総合支援法が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。移動支援事業は、利用者からは柔軟な運用にしてほしい、対象を広げてほしい、事業者からは人材不足、報酬単価を上げてほしい等、様々な要望が寄せられていました。そこで、それらの声を踏まえ、令和3年4月から対象者や運用内容などの大幅な見直しを行いました。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業では、手話通訳者等から派遣費増額や感染症対策のため消耗品補助の要望があります。また、利用者からは、感染症防止に対応した遠隔手話等の派遣希望が寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和3年4月から移動支援事業については、多様化したニーズや障害者の生活実態に即した支援ができるよう、対象者の拡大や運用方法の見直しや事業者への支援の充実などにより、新規利用者が当面の間は大幅に増える事が予測されます。しかしながら新型コロナウイルスの感染防止の影響で、余暇活動での外出を控える傾向が続くことが見込まれるため、新しい生活様式に合わせた支援が行えるようさらに充実していきます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、新型コロナ禍による影響が見受けられますが、派遣件数は増加へ推移すると見込まれます。細かなニーズに対応できるよう手話通訳者等の確保を図っていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>移動支援事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策による外出自粛施策により大幅な打撃を受け、事業費ベースで令和2年4月は前年の54%、5月は64%となり、特例的な運用などの対策を講じましたが、令和2年度は前年度の87%に留まりました。利用人数も813人で、目標値の66%に留まりました。しかしながら、感染前の実績及び令和3年度からの事業見直しによる効果を踏まえ、今後は増加することが予測されます。</p> <p>手話通訳者等の派遣件数の実績についても、新型コロナ禍により令和元年度より2割減少し、目標の77%になっています。一方、全体件数が減少した中、医療関係の依頼は、大きな現象は見られませんでした。今後利用者の高齢化に伴い派遣件数は増えると見込まれます。</p>
評価と課題	<p>移動支援事業は、障害者の社会参加を促進する基盤となる事業です。令和3年度からの実施に向けて、多様化したニーズや生活実態に即し、障害者の個々の状況に応じた支援ができるよう、対象者や支援内容などの事業の見直しを行ったことで、利用人数や利用時間とも増えることが見込まれます。今後は、新しい生活様式も踏まえ、身近な場所で余暇活動を楽しめ、障害者が地域で充実した生活が送れるよう、さらなる事業の充実を図っていきます。</p> <p>意思疎通支援事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として遠隔手話通訳の導入を図るなど社会状況に合わせた支援を行いました。今後も、コロナ禍による影響を踏まえ、利用者ニーズに応じた柔軟な支援に努めていきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>移動支援事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛の影響から令和2年度の利用実績は減少しましたが、令和3年度に対象者の拡大や支援方法の見直し、ガイドヘルパー支援のため契約単価の見直しを行ったことにより、令和4年度の経費は、例年の事業費増よりも大幅に経費が拡充することが予想されます。</p> <p>意思疎通支援事業は、感染症防止のため促進されたタブレット等による遠隔手話や、公的に開始される電話リレーサービスといった利用者を取り巻く支援の変化を踏まえ、ニーズに対応できるよう事業内容の検証と見直しを図ります。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00178 )

事務事業名称	障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	185
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	187			
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和51年度												
令和 2年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。	根拠法令等 ( 1 ) 障害者基本法第5、7、23条 ( 2 ) 杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	障害のある人もない人も共に参加するイベントなどを通じて、全ての人がそれぞれの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す。 障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数 指標説明 指標名 ( 2 ) 「ふれあい美術展」出展数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。 障害者の生活支援サイト「のーまらいふ杉並」を運営する。 「障害者のてびき」を3年ごとに発行する。 「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。 障害者基礎調査を3年ごとに実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」年間アクセス数 指標説明 指標名 ( 2 ) 障害者福祉推進連絡協議会開催回数 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 組	48	50	43	50	29	50	58.0	61.6	
活動指標 ( 2 )	2 点	278	300	320	300	70	300	23.3		
成果指標 ( 1 )	3 件	197,525	210,000	218,791	220,000	228,670	230,000	103.9		
成果指標 ( 2 )	4 回	3	2	1	2	1	2	50.0		
事業費	5 千円	2,103	20,661	15,726	4,123	2,538	2,894	特記事項 新型コロナウイルス感染症の影響による、計画部会の開催回数減および週間事業の実施方法変更により、執行残となっています。		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	60	10,775	6,289	1,242	216	177			
職員数	8 人	1.80	1.90	2.50	1.70	2.50	2.50			
上記以外の職員	9 人	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40			
人件費	10 千円	15,167	16,009	21,795	14,821	21,258	21,258			
上記以外の職員	11 千円	1,545	1,236	1,232	1,232	1,451	1,451			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	18,815	37,906	38,753	20,176	25,247	25,603			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	391,979	758,120	901,233	403,520	870,586	512,060			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	237	124	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	237	124	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	18,815	37,669	38,629	20,176	25,247	25,603			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 185

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	障害者週間事業の開催			601
	障害者福祉推進連絡協議会の開催			122
	障害福祉計画等作成			1,249
	その他（管理事務費・郵送費ほか）			566
事業実績	<p>障害者福祉関連情報に特化したサイト「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報がタイムリーに提供できるよう努めました。また、例年12月に区と障害者団体連合会が共催して行なっている障害者週間事業については、新型コロナウイルスの影響で「ふれあいフェスタ」を中止し、障害者自立支援表彰式や美術展等を規模を縮小して実施しましたが、ちらし等による普及啓発の取組を拡充しました。さらに、第6期障害福祉計画及び第2期障害児計画を策定し、冊子及び点字版・テープ版等を作成し周知を図りました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うえるフェスタ」が平成21年度で終了となりました。</p> <p>平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行、平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。</p> <p>障害者への情報について、情報保障の視点から、障害特性に応じた配慮をしてほしいとの声があります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者関連の情報に特化した障害者支援サイト「のーまらいふ杉並」や、情報誌である「障害者のてびき」の発行にあたっては、障害特性に合わせた情報提供に努めていきます。</p> <p>地域の人々への障害理解に向けた取組を進めていますが、障害者の生活に関わる様々な場面で、障害を理由とした差別的対応などはなくならない状況です。今後も、サイトやイベントなど様々な方法で、より多くの区民・事業者等に障害特性の理解や合理的配慮の提供の促進に向けた働きかけを積極的に行っていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「ふれあいフェスタ」を中止し、「障害者自立生活者表彰」等について規模を縮小しての開催となりました。それに伴い、「ふれあい美術展」については参加団体数及び出展数が減少しています。</p> <p>「のーまらいふ杉並」については、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報がタイムリーに提供できるよう努めたことから、アクセス数が増加しました。</p> <p>障害者福祉推進連絡協議会は、第2回を3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止としたため、計画より実績が1回分減っています。</p>
評価と課題	<p>障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。障害者向けに特化したサイト内容や等級AAのウェブアクセシビリティ等の独自性を維持しながら、より障害者福祉関連の情報を集約し、わかりやすく発信していきます。</p> <p>また、障害者週間事業について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の規模は縮小しましたが、周知方法を工夫し、新たに町会、公共交通機関、商店などにチラシの配布を拡大しました。今後もより多くの区民への普及啓発につながるよう、感染対策を講じながらイベントを開催するとともに、地域の様々な人への周知を図っていきます。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者週間事業については、障害のある方とない方の交流を契機に、障害のある方等に対する理解を更に深めるためのイベントです。感染対策を講じながら、より多くの区民が参加できるよう実施方法や周知方法を工夫して取り組んでいきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00179 )

事務事業名称	障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	186
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1142		昨年度整理番号	188		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和39年度												
令和 2年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体	根拠法令等	( 1 ) 障害者基本法第3条、第4条 ( 2 ) 杉並区心身障害者団体助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。	活動指標	団体の事業開催回数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	団体事業活動の参加者数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。	成果指標	活動参加者数対前年度比
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	131	133	136	128	19	92	14.8	37.3
活動指標 ( 2 )	2 人	2,582	2,611	2,499	2,591	1,595	2,395	61.6	
成果指標 ( 1 )	3 %	144.9	97.4	96.8	99.2	63.8	92.4	64.3	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	10,451	10,762	10,407	11,203	4,177	11,203	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響で団体の活動が制限されたため、予算執行残となっています。	
(内) 委託費	7 千円	8	8	5	9	7	9		
職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	8,426	8,426	8,718	8,718	8,503	8,503		
上記以外の職員	11 千円	309	309	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	19,186	19,497	19,125	19,921	12,680	19,706		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	146,458	146,594	140,625	155,633	667,368	214,196		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	19,186	19,497	19,125	19,921	12,680	19,706		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 186

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	4,166
	その他（消耗品の購入、郵券購入ほか）			11
事業実績	心身障害者団体への運営経費等の一部を助成することにより、障害者の方々のより積極的な社会参加の機会の提供につなげています。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、宿泊訓練や研究活動などの団体の活動が制限されたことや、ふれあい運動会が中止となったことから、令和元年度に比べ実績が減っています。			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	心身障害者団体は、当初10団体から始まり、平成22・23年度は15団体、平成24年度からは16団体、平成25・26年度からは15団体、平成27年度は14団体、平成28・29・30・令和元・2年度は15団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。 ふれあい運動会は東京オリンピックが開催された昭和39年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。 障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、団体助成の維持を望む声が多く、社会情勢や各団体の実情など、より実態に即した支援が望まれています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	年齢の若い障害当事者は団体に加入することに積極的でないこと、また現会員の高齢化も相まって、会員数、実活動人数の減少が顕著となっています。個々の団体に対し適切に支援をしていくことに加え障害者団体連合会やその他の関係機関と連携しながら、団体活動の周知や障害のある人、無い人を含めた交流の場を広げていきます。そして障害者が住み慣れた地域でいきいきと社会参加ができるよう、団体活動の活性化に努めていきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	宿泊訓練、レクリエーション、研究会活動などの各団体ごとの団体活動は、障害者の自立や社会参加の機会の一助となっていることが見込まれますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、活動事業回数、参加人数とも前年度実績及び計画より減っています。あわせて、ふれあい運動会も中止となり、実績が減っています。
評価と課題	団体助成については、団体活動の一助として、その時々々の社会情勢や団体の実情に見合った適切な支援ができるよう、適宜、運営事務経費等助成金分配基準等の見直しを図っていきます。また、多くの団体では会員の高齢化等により会員数の減少がみられます。障害者の自立や社会参加の機会を広げる場として団体活動は大切であり、財政支援だけでなく活動が活性化するよう働きかけていきます。 ふれあい運動会は、令和2年度は中止となりましたが、例年は障害のある人もない人もともに参加し、交流することができる場となっており、中学生ボランティアも多く参加するなど、障害者の積極的な社会参加の推進や相互理解に寄与しています。今後は感染対策を講じながら、プログラム内容を工夫し、コロナ禍でもより一層交流が図れるよう取り組んでいきます。

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	障害者団体活動は、障害者の社会参加だけでなく、障害の有無にかかわらず互いに親睦を深め、情報を共有することができるなど、障害者が地域の中で生活していく上で非常に有効な活動です。また、区にとっても、障害者の意見や要望を収集できる貴重な情報源となっていることから、今後も実態に即した支援を継続していきます。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で団体活動が制限されましたが、団体からは改めてコロナ禍だからこそ情報共有が大切であり、感染対応で活動は縮小しても情報発信はより工夫して実施していくなどの取組が示されています。ここ数年は、感染症の影響で今までと同じような宿泊訓練や研究活動などはできないことが想定されますが、引き続き活動が活発に行えるよう支援に取り組んでいきます。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00181 )

事務事業名称	障害者通所施設支援事業			款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	187
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	189		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成19年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	送迎サービス対象施設数 障害福祉サービス事業所施設数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	送迎サービス利用施設通所者数 障害福祉サービス事業所通所者数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 所	5	7	7	8	7	8	87.5	92.0	
活動指標 ( 2 )	2 所	31	33	32	34	34	34	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 人	59	71	79	81	64	126	79.0		
成果指標 ( 2 )	4 人	1,257	1,121	1,287	1,166	1,317	1,165	113.0		
事業費	5 千円	432,227	469,718	430,742	476,538	438,485	488,796	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	20	23	19	23	23	23			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.54	0.84	0.52	0.53	0.42	0.52		
	上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	4,550	7,078	4,533	4,157	3,176	4,026		
	上記以外の職員	11 千円	618	618	616	616	726	726		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	437,395	477,414	435,891	481,311	442,387	493,548			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	87,479,000	68,202,000	62,270,143	60,163,875	63,198,143	61,693,500			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	262,463	283,740	264,096	296,725	282,941	309,406		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	262,463	283,740	264,096	296,725	282,941	309,406		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	174,932	193,674	171,795	184,586	159,446	184,142			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 187

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	通所サービス利用促進事業 ( 送迎サービス支援 ) の実施		7	所
	日中活動系サービス推進事業の実施	34	所	279,252
	訓練等給付交通費等助成	35	所	38,036
	訓練等給付施設借上費助成ほか	18	所	112,634
	その他 ( 事務費、郵送料 )			46

事業実績

施設に対して運営費等の助成を行うことで円滑な運営が行われています。令和2年度は事業所の新規開設が2所あったため、助成対象施設数が増加しています。また、送迎サービス支援を開始した施設が1所ありました。

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」、通所者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」、通所者の送迎支援に補助を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」から成っています。</p> <p>平成23年度末、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了し、現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p> <p>今後も通所にかかる交通費及び給食費の補助を継続し、通所者の負担軽減を考慮してほしいとの声があります。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>各事業所が補助金に頼らない自立した運営を行うことが期待されます。一方で、通所者の高齢化・重度化に伴い、通所者の送迎サービスの需要が高まっています。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>送迎サービス利用施設通所者数については、東京都の補助基準内であったため、区の補助金の対象外となった施設があったことや新型コロナウイルス感染症拡大による「緊急事態宣言」の影響もあり減少しました。障害福祉サービス事業所通所者数については、令和2年度に新規開設が2所あったことから通所者数は増加しています。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、各事業所の運営は安定しています。</p> <p>しかし、施設利用者の高齢化・重度化に伴い、自主通所が困難な利用者の増加に伴い、送迎サービスの需用が高まっています。そうした中、小規模な施設は、送迎サービスの対応が困難なことから他の福祉サービスの見直しを踏まえて対応を図っていきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、各施設の安定した自立運営を支援するため、運営費等の補助を行っています。近年、通所施設は、毎年のように新規開設があり、そのため今後も運営費等が増加します。</p> <p>また、補助金の対象施設の増加に伴い執行事務処理も増加・複雑となるため、より正確で効率的な支給事務に努めます。</p>	



# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00182 )

事務事業名称	公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款 04	項 01	目 03	事業 011	整理番号	188
現担当課名	障害者生活支援課	係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	190
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成10年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 02					
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団	根拠法令等	( 1 ) 杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例 ( 2 ) 障害者の雇用の促進に関する法律
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができよう、財団運営の安定に資する。	活動指標	雇用支援対象者数 (就労移行支援事業登録者数 + 新規登録者数)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。 区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。	指標名 ( 1 )	職場定着支援件数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	就職者の割合
		指標名 ( 1 )	事業団からの就職者数 ÷ 雇用支援対象者数
		指標名 ( 2 )	過年度からの継続就労者
		指標説明	4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	125	135	152	160	116	160	72.5	94.9	
活動指標 ( 2 )	2 件	6,380	6,900	6,167	6,300	6,568	6,600	104.3		
成果指標 ( 1 )	3 %	50.4	70	53.6	60	46.6	60	77.7		
成果指標 ( 2 )	4 人	545	575	587	600	640	600	106.7		
事業費	5 千円	82,271	84,095	81,516	88,825	84,320	96,935	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	68,674	72,826	71,300	73,597	70,682	80,533			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.54	1.29	1.26	1.15	1.17	1.20		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	4,550	10,870	10,985	10,026	9,949	10,204		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	86,821	94,965	92,501	98,851	94,269	107,139			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	694,568	703,444	608,559	617,819	812,664	669,619			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	2,326	2,360	2,393	2,367	2,367	2,378		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	2,326	2,360	2,393	2,367	2,367	2,378		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	84,495	92,605	90,108	96,484	91,902	104,761			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 188

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	運営費助成			13,638
	区市町村就労支援事業委託			70,682
	その他 ( )			
事業実績	<p>雇用支援については、令和2年度新規登録者数が116名（前年度比36名減）、内訳として、就労・生活支援事業が99名（同32名減）、法内の就労移行支援事業利用者が17名（同4名減）でした。</p> <p>一方、定着支援については、延べ相談件数が6,568件（前年比411名増）となっています。</p> <p>定着支援を受けている登録者の3か年定着率は、平成30年度48.5%、令和元年度50.0%、令和2年度55.2%と僅かずつですが確実に上昇しています。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>【民間企業における法定障害者雇用率】</p> <p>平成16年：1.8% 平成30年：2.2% 令和3年3月1日から2.3%</p> <p>障害者の雇用促進のため段階的に雇用率が引き上げられたように、国の障害者雇用施策の強化推進に伴い、民間の支援事業所も増加しています。公共性が高い事業団に対しては、高次脳機能障害者や難病、重度障害者等、民間事業所では対応困難なケースへの対応が求められています。また、技術革新による環境変化やウィズ・ポストコロナ時代に対応するICTを活用した在宅就労や、障害特性に合わせた短時間労働など、多様な働きかたに対する支援の充実を期待する声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>就労移行支援・就労定着支援を行う民間事業所が増加する中、公益財団法人である雇用支援事業団には、短時間就労や福祉サービス終了後の支援など民間事業所では対応しきれないニーズへの対応が期待されていることから、障害者が安心して働き続けられる環境づくりに取り組みます。</p> <p>また、多様な働きかたに対する支援が求められる中、他の障害者支援機関、医療、保健などの各分野や企業との連携強化を更に推進していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>雇用支援事業団登録者数および就労者の割合は、前年度実績・今年度目標値のそれぞれを下回っています。これは、コロナ禍を鑑みて障害福祉サービスの就労移行支援利用期間が延長されたことが影響しています。</p> <p>一方、定着支援件数については、過去最高の相談件数となりました。障害福祉サービスの就労定着支援事業から引き継がれるケースの増加に加えてコロナ禍による在宅就労や時短対応など、新たな働きかたに対する本人・企業双方からの相談が増えたことによります。</p>
評価と課題	<p>登録者や就労者の減少はありましたが、コロナ禍においても令和元年度に比べて実績80%前後の値となっており、区市町村支援事業としての役割は果たしていると評価できます。さらに、定着支援件数、継続就労者の値は増加していることから、今後はより長期間安定して働き続けるための本人支援および企業に対する環境調整を推進していきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>就労・定着支援を行う民間事業所が増える中、事業団には公益性の高い事業の実施が求められていることから、より重い障害のある方や高次脳機能障害など高い専門性が求められる方への支援及び短時間労働、在宅就労など多様な働きかたに対応する新たな就労支援に取り組みます。また、安心して働き続けられる環境づくりのため、障害者本人に対する定着支援の更なる充実とともに、企業に対する雇用継続支援にもより力を入れていきます。更に相談件数の実数増および新たなニーズに対応するため、事業団の正規職員を増員し支援の安定性確保と質の向上を図ります。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00188 )

事務事業名称	障害者福祉タクシー等			款	04	項	01	目	03	事業	017	整理番号	192
現担当課名	障害者施策課		係名	障害者福祉係			連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	194		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和50年度												
令和 2年度担当課名	障害者施策課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	移動の困難な心身障害者で、各事業の要件に該当する方	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	福祉タクシー券利用者数 燃料費助成対象人数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	月5,300円分の福祉タクシー券を支給する。 月62リットルを上限にガソリン代を1リットル当たり50円 (軽油30円) 助成する。 身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。	指標説明	成果指標	発行した福祉タクシー券の利用率
		指標説明	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	支払済み乗車料金 ÷ 発行した福祉タクシー券の額面総額

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	6,576	6,600	6,469	6,500	6,419	6,500	98.8	86.6
活動指標 ( 2 )	2 人	1,649	1,700	1,628	1,650	1,628	1,612	98.7	
成果指標 ( 1 )	3 %	99.7	70	70.0	70	67.0	70	95.7	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	360,276	344,361	332,460	340,713	294,998	0	<b>特記事項</b> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、受給者が福祉タクシー等での外出を控えた影響により執行率は86.9パーセントにとどまりました。 令和3年度からは予算事業の統合により「障害者手当等支給」内の事業となります。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	321,786	305,718	296,151	302,012	259,944	0		
職員数	8 人	2.10	1.60	2.10	1.40	2.49	2.00		
上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.10	1.50	1.50	1.00		
人件費	10 千円	17,695	13,482	18,308	12,205	16,428	13,411		
上記以外の職員	11 千円	3,089	3,089	3,388	4,620	5,442	3,628		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	381,060	360,932	354,156	357,538	316,868	17,039		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	57,947	54,687	54,747	55,006	49,364	2,621		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	3,100	3,100	3,113	3,100	3,097	3,100	
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	3,100	3,100	3,113	3,100	3,097	3,100	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	377,960	357,832	351,043	354,438	313,771	13,939		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 192

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	タクシー乗車券の支給	6,419	人	245,851
	リフト付タクシー補助券の支給	905	人	11,177
	自動車燃料費の助成	1,628	人	26,535
	その他 ( 支給事務費 )			11,435
事業実績	障害者の外出支援のため、福祉タクシー券を6,347冊発行し、1,628名の受給者に対し自動車燃料費の助成を行い、リフト付タクシー補助券の延べ利用回数は12,248回でした。			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	昭和50年8月 自動車燃料費助成事業を開始 昭和53年6月 福祉タクシー券事業を開始 平成4年4月 リフト付タクシー補助事業を開始 平成12年4月 介護保険制度の開始に伴い、利用者負担相当分の支給金額の引下げを実施 平成31年4月 福祉タクシー券・リフト付タクシー補助券を年度発行方式に変更 令和3年4月 移動に関する事業の見直しを実施。段階的な所得制限の導入を開始
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	令和3年4月から福祉タクシー事業・燃料費助成事業・リフト付タクシー事業に段階的に所得制限を導入することとなったため、受給者数は一定数減少し、その後は横ばいとなる見込みです。
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、障害者が移動を控えたことにより、発行した福祉タクシー券の利用率について令和2年度実績は目標値を下回る結果となりました。令和3年度以降は所得制限の導入と精神障害者への対象拡大の影響を踏まえた目標値に修正を行います。
評価と課題	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、障害者が移動を控えたことにより、令和2年度の助成金額は減少しましたが、この影響がいつまで、どの程度続くのかを見通すことは困難です。 個々の障害や能力に応じた適切なサポートを行う観点から、障害者の移動に関する事業を総合的に見直し、令和3年度から段階的に実施していくことで、障害者の外出支援と社会参加の促進を図っていきます。

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	令和3年度から事業内容の見直しを段階的に開始し、令和4年度の事業コストは減少する見込みでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実績が大きく減少したことから令和4年度予算の削減は見込めません。 今後も、引き続き、丁寧に利用者に説明を行いながら、必要な予算を確保していきます。	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00198 )

事務事業名称	障害者福祉会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	027	整理番号	201
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	203		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。	活動指標	会議室の利用件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。 福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。	指標名 ( 1 )	会議室の利用延べ人数
		指標名 ( 2 )	会議室の利用延べ人数
		成果指標	会議室の開館日に対する利用率
		指標名 ( 1 )	各会議室の利用件数 ÷ 年間利用可能部屋数 × 100の平均値
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	3,902	4,000	3,491	4,000	2,600	3,000	65.0	93.1	
活動指標 ( 2 )	2 人	53,372	56,000	46,028	56,000	23,116	25,000	41.3		
成果指標 ( 1 )	3 %	53.9	60	48.2	60	41.3	50	68.8		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	69,448	73,079	70,538	73,080	68,037	79,154	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	65,350	68,325	65,805	68,985	65,708	75,059			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.43	0.43	0.42	0.52	0.48	0.57		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	3,623	3,623	3,662	3,648	3,470	4,235		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	73,071	76,702	74,200	76,728	71,507	83,389			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	18,727	19,176	21,255	19,182	27,503	27,796			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	73,071	76,702	74,200	76,728	71,507	83,389			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 201

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	管理運営委託	1	館	40,411
	区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成	1	館	1,869
	運営協議会運営補助	1	館	460
	送迎用バス運行業務委託	1	館	25,286
	その他 ( 会館運営事務費 )			11
事業実績	<p>新型コロナ禍により、施設の利用停止や利用人数の制限を行いました。区の委託事業や運営協議会主催の事業の多くが中止や縮小となっています。この影響により、施設利用者等が大幅に減少しています。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>障害者福祉会館運営協議会は区の委託事業とは別に、自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきましたが、平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との契約に変更となっています。利用者からは、各種講座や教室の内容について様々な要望が寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>新型コロナ禍による生活様式の変化等に合わせた講座やICTを活用した教室など社会状況に応じた新たな事業の実施に努めます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>障害者福祉会館利用者数は、令和元年度と比較し6.9%減少しており、減少傾向が続いています。理由としては、会館利用登録障害者団体の構成員が高齢化しているため利用団体の活動回数が減少していることが考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、会館の事業を含め活動の自粛が多くありました。このような影響により今後も施設利用者数の減少が続くと思われま。</p>
評価と課題	<p>運営協議会は、区からの受託事業として手話講習会の実施やパソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業を行い、区の障害者支援施策において重要な役割を担っています。利用者数は、前年度と比較し6.9%減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響で会館利用を自粛したことが減少の理由としてあります。今後も感染症や利用者の高齢化で、会館利用者数の減少が見込まれますが、運営協議会と連携して、障害当事者や支援者が活動するための拠点としての役割を果たせるよう、活動支援の充実を図り、利用者の満足度向上と利用者の増につなげるよう努めます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者福祉会館は、障害者団体の活動場所として、また障害者の自立支援や社会参加の場としての役割があります。コロナ禍において、利用者の状況が今までと変わる可能性を踏まえ、現状に沿った事業内容へ見直しを図り、適正な事業費による運営に取り組みます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00199 )

事務事業名称	視覚障害者会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	202
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	204		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	三療 (はり、きゅう、マッサージ) の免許を有する視覚障害者で、自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、自立の支援を行う。 ○視覚障害者を対象に、教養・レクリエーション事業として点字やパソコン、料理などの講習会を行い、視覚障害者の日常生活の向上を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	三療 (はり、きゅう、マッサージ) の利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療 (はり、きゅう、マッサージ) の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。 ○視覚障害者及び視覚障害者をサポートするためのボランティアを対象にしたパソコン教室、点字教室等の講座を実施する。 ○視覚障害者の文化教養の向上と福祉の理念を学習するための講演会等を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	利用率 三療施術実施時間 ÷ 年間三療施術実施可能時間

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度 実績	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度 計画	令和 2年度 対計画比 (%)	令和 2年度 予算執行率 (%)	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 ( 1 )	1 人	1,340	1,500	1,310	1,500	897	1,500	59.8	93.6	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 %	24.2	30	24.3	30	19.7	30	65.7		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	14,661	17,000	15,356	15,526	14,529	17,346	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	14,661	17,000	15,356	15,526	14,529	17,346			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.26		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	1,854	1,854	1,831	1,367	1,390	1,815		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	16,515	18,854	17,187	16,893	15,919	19,161			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	12,325	12,569	13,120	11,262	17,747	12,774			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	5,062	6,371	4,642	5,078	5,302	5,435		
	都からの補助金等	16 千円	2,530	3,186	2,321	2,539	2,651	2,717		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	7,592	9,557	6,963	7,617	7,953	8,152		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	8,923	9,297	10,224	9,276	7,966	11,009			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 202

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	管理運営委託			
	その他 ( )			
事業実績	<p>視覚障害者会館は、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に運営を委託し、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための点字講習会、料理講習会、三療施術講習会、文化講座等の開催及び三療施術を実施しています。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴う、視覚障害者会館の休館や、緊急事態宣言解除以降の外出の自粛等の影響により、利用者数は前年度より大幅に減少しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>運営委託事業者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、杉並区視覚障害者福祉協会で、創立以来80年の伝統ある任意団体です。当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の管理運営等を行なってきましたが、平成27年度からは運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p> <p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者に概ね好評です。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>視覚障害者に特化した支援の場として、これまでの実績を生かした運営に取り組んでいます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>三療 ( マッサージ、針、灸 ) 利用者が目標値に達していません。</p> <p>民間によるマッサージ等の施術所が増加したことや三療施術の周知不足によることが主な要因と考えます。また、施術者及び利用者ともに高齢化しており、利用者はリピーターがほとんどとなっています。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴う、視覚障害者会館の休館や、緊急事態宣言解除以降の外出の自粛等の影響により、利用者数は前年度より大幅に減少しました。</p>
評価と課題	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が、障害特性への理解や配慮など専門的な知識や経験を生かした運営を着実に進めています。</p> <p>令和2年度は、新型コロナ禍で料理講習会や点字教室などの事業が中止もしくは縮小となり、視覚障害者の自立支援事業がほとんどできない状況でした。また、三療施術についても新型コロナ禍の影響を受け利用者が減少しています。</p> <p>施術者や施設利用者は高齢化しており、委託法人と連携し新たな利用者の開拓に努めます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、視覚障害者を対象とした料理教室やパソコン教室などの講座・教室を実施することで、視覚障害者の社会参加支援を推進します。また、施設の設置目的等を踏まえて、委託法人と連携し利用者のニーズに応えた講座の実施に努めます。</p>	



# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00200 )

事務事業名称	障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	203
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	205		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。	活動指標	利用回数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	利用人員
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。	成果指標	利用率
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	利用時間数 ÷ 年間利用可能時間数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	3,619	4,000	3,433	4,000	1,543	4,000	38.6	85.2
活動指標 ( 2 )	2 人	50,771	56,000	46,724	56,000	16,159	56,000	28.9	
成果指標 ( 1 )	3 %	47.4	60	44.9	60	22.3	60	37.2	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	35,634	40,157	36,760	39,995	34,079	46,050	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算執行率が90%未満となった理由	
(内) 委託費	7 千円	35,634	39,943	36,547	39,995	34,079	46,050	新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴い、和田及び高円寺障害者交流館の休館や利用制限を実施したことにより、管理運営委託における人件費等が減少しました。	
職員数	8 人	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21	0.26		
	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	1,854	1,854	1,831	1,367	1,390	1,815		
	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	37,488	42,011	38,591	41,362	35,469	47,865		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	10,359	10,503	11,241	10,341	22,987	11,966		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	37,488	42,011	38,591	41,362	35,469	47,865		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 203

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	管理運営委託 ( 和田 )			14,513
	管理運営委託 ( 高円寺 )			19,566
	その他 ( )			
事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、杉並区障害者団体連合会に委託しています。</p> <p>和田及び高円寺障害者交流館は、障害者を主体とした団体に施設の貸し出しを行っています。</p> <p>令和2年度においては、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴う、和田及び高円寺障害者交流館の休館や利用制限、利用者の活動自粛等の影響により、施設利用者数や利用率は、前年度より大幅に減少しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>和田障害者交流館は平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館は平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託していました。平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として、和田障害者交流館と合わせて管理運営等を行ってきましたが、平成24年度から運営形態を業務委託に変更し運営しています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p> <p>高円寺障害者交流館は、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放しています。利用者・利用団体からは、概ね好評価を得られています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和3年度以降についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数や利用率の大幅な増加は難しい状況ですが、感染対策を行いつつ、障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流や余暇活動を促進する場としての役割を引き続き推進していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>和田及び高円寺交流館の利用者数や利用率については、利用する団体構成員の高齢化等により、団体の活動回数や参加者数が減っています。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴う、和田及び高円寺障害者交流館の休館や利用制限、利用者の活動自粛等の影響により、施設利用者数や利用率は、前年度より大幅に減少しました。</p>
評価と課題	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供しています。</p> <p>高円寺障害者交流館においては、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放し、地域に密着した障害者施設として運営しています。</p> <p>和田障害者交流館の利用率が低い状況が続いていることから、老朽化が進む併設の和田小学校や和田区民集会所の施設再編・整備の状況を踏まえながら、施設の利用方法等について、見直しを図っていきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者交流館は、今後も障害者や支援者の活動及び地域との交流の場としての役割を担い、円滑な運営に努めます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00201 )

事務事業名称	すぎのき生活園事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	204
現担当課名	障害者生活支援課	係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	206
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和55年度										
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般			

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	すぎのき生活園利用者 (利用者 = 重度知的障害者)	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  杉並区立すぎのき生活園運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	日常生活支援活動における利用者数  日常生活支援活動における延べ利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	日常生活動作 (更衣・排泄・食事・移動等) への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者 ÷ 利用者数  出席率  延べ通所人数 ÷ (登録者数 × 開所日)

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	82	84	82	84	81	84	96.4	96.2	
活動指標 ( 2 )	2 人	17,173	18,446	17,035	18,370	14,329	18,295	78.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	98.5	100	98.3	100	98.5	100	98.5		
成果指標 ( 2 )	4 %	82.8	90	89.8	90	72.8	90	80.9		
事業費	5 千円	99,062	106,641	104,649	116,709	112,332	118,058	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	91,395	96,887	96,146	109,218	107,771	110,520			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	48.08	48.00	51.00	51.00	50.93	51.00		
	上記以外の職員	9 人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	400,891	396,464	432,802	444,618	433,058	426,463		
	上記以外の職員	11 千円	6,178	6,178	6,160	6,160	7,256	7,256		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	506,131	509,283	543,611	567,487	552,646	551,777			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	6,172,329	6,062,893	6,629,402	6,755,798	6,822,790	6,568,774			
財源	受益者負担分	14 千円	200,877	211,365	203,086	211,362	176,974	211,362		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	200,877	211,365	203,086	211,362	176,974	211,362		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	305,254	297,918	340,525	356,125	375,672	340,415			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	39.7	41.5	37.4	37.2	32.0	38.3			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 204

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	送迎用バス運行業務委託	232	日	74,916
	給食調理業務委託	243	日	32,779
	日常生活活動	243	人	2,139
	利用者健康管理	243	人	2,159
	その他（郵券、保険 ほか）			339
事業実績	<p>各利用者の個別支援計画に基づいた生活支援、健康の維持、機能低下を防ぐ取り組み、その他各利用者の特性や興味に合わせた活動の提供をしています。送迎バスや給食提供、各種の検診や健康管理、栄養指導、その他ご家族も含めた生活全般の相談支援を行ってきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策等で出席率の低下が見られたのと同時に社会見学や宿泊行事など季節の行事や地域の皆様と交流を深めるための杉実祭など行事を中止とせざるを得ない状況がありました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設として運営しています。</p> <p>障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う利用者も増加しています。また、近年は就労系サービス施設に通っていた方々が高齢化等の理由で通所困難になりすぎのき生活園への移行を希望するケースが増えました。</p> <p>利用者の重度化や高齢化に伴い、個々の支援内容の充実を求める声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>特別支援学校の児童・生徒の施設利用希望者が増えており、障害の重複化・重度化傾向や他害など対応が難しい卒業生も増えています。すぎのき生活園の利用者は3分の1が重複障害であり、高齢化により機能低下している利用者や民間施設で対応が難しい利用者も増えています。また支援が必要な家族も増え支援業務の範囲が広がっています。障害の重複化・重度化が進む中、利用者が安全に過ごし適切な支援を行うためには集団規模の縮小と、障害に応じた設備を整える必要があります。集団規模の適正化を図るには、区立施設利用者の一定数を民間施設に移行する必要があります。そのため生活園と同等な設備が整った重度知的障害者通所施設を整備することと併せて、重度知的障害者の支援ノウハウに関する民間施設への支援力を高める取組に努めます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>目標値は概ね達成されています。利用者の高齢化や重度化等により個別（1対1）対応が増加していることから、毎年職員を増やし対応しています。</p>
評価と課題	<p>すぎのき生活園は重度知的障害者84名という大規模施設であり、多様な活動やプログラムが提供され、地域に根ざした施設づくり等の評価を得ています。一方では高齢化や障害の重度化、強度行動障害で1:1以上の対応が必要な利用者が増える中、安全で適切な支援を実施するために、現在の集団規模を見直し適正な規模へ縮小を図ります。また、今後整備が進む民間施設と連携しながら重度知的障害者の日中活動の場を確保するとともに高い支援力を持った人材育成が急務となっています。計画では民間事業者による新たな重度知的障害者通所施設の整備の予定もあり、支援技術の提供など民間施設へ支援体制の構築に努めます。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな施設整備のスケジュールに合わせて区立施設利用者の民間施設への移行を計画的に進めるため、地域割りなどの区の方針を踏まえ、利用者や家族の理解が得られるよう働きかけていきます。民間施設への支援については、定期的に意見交換や情報共有の場を設置し、重度知的障害者のノウハウを伝えながら、各民間施設の支援力の向上が図られるよう努めます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00202 )

事務事業名称	こすもす生活園事業運営	款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	205
現担当課名	障害者生活支援課	係名	こすもす生活園				連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	207
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成 5年度										
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課						事業評価区分	一般			

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	こすもす生活園の利用者 (利用者) = 重度身体障害者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数  延べ利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談・支援、地域交流・広報活動などを行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者 ÷ 利用者数  出席率  延べ通所人数 ÷ ( 日々定員 × 開所日 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	27	30	25	27	26	26	96.3	97.9	
活動指標 ( 2 )	2 人	4,719	5,856	4,710	5,060	3,735	5,808	73.8		
成果指標 ( 1 )	3 %	92.0	100	92.0	100	88.0	100	88.0		
成果指標 ( 2 )	4 %	80.0	85	75.4	85	64.0	85	75.3		
事業費	5 千円	54,327	57,241	56,221	58,198	56,987	70,642	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	50,755	52,738	52,094	54,132	53,308	66,791			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	18.03	18.02	20.02	19.80	18.94	18.82		
	上記以外の職員	9 人	3.00	3.00	3.00	3.00	2.08	2.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	147,849	147,765	170,230	169,240	157,452	156,431		
	上記以外の職員	11 千円	9,267	9,267	9,240	9,240	7,546	7,256		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	211,443	214,273	235,691	236,678	221,985	234,329			
単位当たりコスト (12-6) ÷ 1)	13 円	7,831,222	7,142,433	9,427,640	8,765,852	8,537,885	9,012,654			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	70,473	55,022	70,411		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	70,473	55,022	70,411		
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円	211,443	214,273	235,691	166,205	166,963	163,918		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	29.8	24.8	30.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 205

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	送迎用バス運行業務委託	243	日	39,468
	給食調理業務委託	243	日	13,952
	利用者健康管理	24	人	1,096
	医療的ケア	6	人	1,320
	その他 ( 日常生活活動・行事特別活動ほか )			1,151
事業実績	<p>3台の通所バスで送迎サービスを行っています。給食サービスは、障害の特性に応じた食形態を提供し、摂食嚥下機能の維持、向上に取り組んでいます。嘱託医師 ( 内科・小児神経科・皮膚科・整形外科・摂食・心療内科 ) による健康相談および眼科、耳鼻科の検診を実施し、健康管理に努めています。医療的ケア対象者には指導医の助言を受けながら、適切はケアを実施しています。創作的活動、スポーツレクリエーション活動、広報活動等の事業を行い利用者の自立と社会参加に努めています。なお、新型コロナ対策で令和2年度は外出行事、地域交流などの事業は自粛しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>平成5年に重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、支援費制度導入時の平成16年にデイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年に障害者自立支援法が施行され、生活介護事業と自立訓練事業を実施、平成25年からは、障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。</p> <p>平成9年に区立なのはな生活園、平成21年にはマイルドハート高円寺、平成30年に永福南社会福祉ガーデン、令和元年にはシャローム上井草さくらが開所したことで、区内の重度身体障害者の日中活動の場が拡充されています。</p> <p>利用者やその家族の高齢化等に伴い、個別事情に配慮した支援が求められています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>利用者の高齢化・重度化及び障害の多様化が進んでいます。また、医療的ケアを必要とする方の増加が見込まれます。施設では、利用者一人ひとりの障害の状況に応じた支援が求められており、職員の専門性や支援力の向上に努めるとともに適正な職員配置を推進します。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>令和2年度は、途中で1名入所した方はおりましたが、年齢が65歳に達し介護保険サービスのほうへ移行した方が1名と体調の都合で退所となった方がいました。</p> <p>利用者は重度身体障害者であるため、新型コロナウイルス感染症予防で自ら自粛する方や季節の変わり目等で体調を崩しやすく欠席が増えたことで出席率が目標値に達しませんでした。</p>
評価と課題	<p>利用者家族の高齢化が進んでおり、家庭での支援力低下が見受けられることから特定相談支援事業所と連携をとりながら、居宅サービスの活用を図るなど将来を見据えた支援を行っています。また、利用者及び家族とのコミュニケーションを基本に支援ニーズの把握とそのニーズに対応できるよう支援方法等の工夫に努めています。</p> <p>施設利用者の高齢化・重度化に加えて障害特性や医療的ケアの多様化が見受けられることから、専門性の高い職員の育成とともに福祉職や医療職との連携を強化し、支援力の向上に努めます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>重度身体障害者である利用者の高齢化・重度化に加えて障害特性や医療的ケアの多様化により、介護量の増加しており、職員の適正配置とともに職員の専門性と質の向上が求められています。今後、関係機関との連携を強化するとともに、研修等により支援力の向上に取り組みます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00203 )

事務事業名称	なのはな生活園事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	206
現担当課名	障害者生活支援課		係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	208		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 9年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	なのはな生活園の利用者 (利用者 = 重度身体障害者)	根拠法令等 ( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ( 2 ) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	さまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中でその人らしく生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理と維持の支援や健康状態のチェック、医療的ケアを実施する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 施設登録人数 (生活介護登録人数 + 自立訓練登録人数) 指標説明 延べ通所者人数 指標名 ( 2 )
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮したり、新しい自分を発見できるように支援する。また、地域社会において生き生きとした生活が送れるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 個別支援計画の策定と実施、機能訓練・医療的ケア・入浴サービス・バス送迎・給食提供などを行う。また、支援の充実のために本人、家族、関係機関との情報共有を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 指標説明 成果のあった利用者 ÷ 利用者数 指標名 ( 2 ) 出席率 指標説明 延べ通所人数 ÷ (定員数 × 開所日数)

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	33	33	33	31	31	32	100.0	98.7	
活動指標 ( 2 )	2 人	5,642	6,832	5,507	5,866	4,860	5,842	82.9		
成果指標 ( 1 )	3 %	100.0	100	100.0	100	100.0	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4 %	82.5	85	81.9	85	71.4	85	84.0		
事業費	5 千円	67,788	69,232	68,489	69,698	68,760	71,592	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	63,554	65,240	64,827	65,846	65,308	67,781			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	22.39	21.10	19.87	22.30	20.30	22.30		
	上記以外の職員	9 人	2.65	3.00	3.10	4.00	3.40	2.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	188,658	177,789	173,227	194,411	172,611	189,617		
	上記以外の職員	11 千円	8,186	9,267	9,548	12,320	12,335	7,256		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	264,632	256,288	251,264	276,429	253,706	268,465			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	8,019,152	7,766,303	7,614,061	8,917,065	8,184,065	8,389,531			
財源	受益者負担分	14 千円	83,559	90,113	81,784	90,113	70,672	90,113		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	83,559	90,113	81,784	90,113	70,672	90,113		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	181,073	166,175	169,480	186,316	183,034	178,352			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	31.6	35.2	32.5	32.6	27.9	33.6			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 206

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	送迎用バス運行業務委託	243	日	50,751
	給食調理業務委託	243	日	14,556
	利用者健康管理	31	人	663
	医療的ケア	6	人	1,458
	その他（日常生活活動・行事特別活動ほか）			1,332
事業実績	<p>新型コロナ感染予防に努め運営を行いました。4月～5月の緊急事態宣言時には利用自粛の依頼を行い運営を継続しました。国、都が公表する感染状況に合わせ外部関係者の来園自粛を適宜行いました。利用者の送迎における負担を考慮し、送迎バス4台の効率的な運行を行いました。利用者の状況を踏まえ、より安全に美味しく食べられるよう4種類の食形態を設け給食提供しています。看護師を中心に健康管理を行い、障害特性や加齢に伴う健康面でのニーズに柔軟に対応しました。医療的ケアには、看護師、福祉職が安全に実施できるよう園の指導医に助言を受け取り組んでいます。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成9年度なのはな生活園が法外の通所施設として開所し、平成16年度支援費制度施行に伴い、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。平成18年度障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施し、平成25年度からは障害者総合支援法移行に基づき同事業を実施しています。平成15年度より医療的ケアを必要とする特別支援学校卒業生の受入れに対応するため、医療的ケア実施要領を定め医療的ケアを必要とする卒業生を含め受け入れを行なっています。また、新たな医療的ケア対応への要望には医療的ケア内容をその都度実施要領を改定し柔軟に対応しています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>利用者の加齢に伴う身体機能の低下から、新たな医療的な支援を必要とする方が増加していくことが予想されます。また、特別支援学校から医療的ケアを必要とする在籍者が増えていくことが見込まれています。また、高度な医療的ケア対応が必要な方も在籍されており需要に合わせた受入れ体制の検討が必要です。</p> <p>利用者の多様化する医療的な支援に対応できるよう看護師の確保と育成を強化するとともに、医療機関との連携に努めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>生活介護事業の通所延べ日数及び出席率は、新型コロナ感染症予防のため、4～5月の緊急事態宣言時に利用者にご利用自粛をお願いしたことにより、集積率が低下しました。更に、利用対象者の障害の特性から、感染症、疲れからくる体調の悪化や季節の変化に伴う不調や入院により欠席する日数が増える傾向にあり目標値を達成できませんでした。</p>
評価と課題	<p>医療的ケアを含む重度の身体障害者に社会参加の機会と生活の質の向上及び身体機能の維持向上支援の提供を行っています。近年、利用者の高齢化や障害特性が多様化してきており個別支援を必要とする利用者が増加しています。さらに、利用者や今後の利用者予測から医療的ケアを必要とする方が増加することが見込まれ、現体制の見直しが必要です。</p> <p>引き続き、障害特性や個別支援に対応した専門性の高い職員の育成と適正な人員配置に努めていきます。また、民間施設においても人工呼吸器装着者の受入れや障害特性の多様化が進んでいることから、支援方法や内容などを情報共有し、連携してサービス向上に取り組んでいきます。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>重度身体障害者の社会参加の場として継続して事業を行っていきます。利用者にとっては、施設利用開始から長期間にわたり利用する方が多く、加齢に伴い介助や支援の内容が多様化してきています。今後、すでに利用されている方、これから利用される方で新たな医療的ケア（人工呼吸器など）を必要とする方が増えることが予想されます。安全に利用者の受け入れを行うため人員の配置と人材育成による専門的な知識の向上を図り安全な施設運営に努めます。</p> <p>民間施設の整備が進められる中、公立施設のあり方検討会での課題解消に取り組めます。</p>	



# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00204 )

事務事業名称	障害者の入所・通所施設の運営助成			款	04	項	01	目	03	事業	033	整理番号	207
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	209		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	民営化した障害者通所施設等を運営する法人	根拠法令等	( 1 ) 杉並区重度障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱 ( 2 ) 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れにに応じていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。	活動指標	利用者登録人数 (年度当初)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	重度身体障害者施設において、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。重度知的障害者施設において、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。障害者通所施設において、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。	指標名 ( 1 )	年間延べ利用者数
		指標説明	
		成果指標	定員に対する年度末の登録者数の割合
		指標名 ( 1 )	年度末登録者数 ÷ 定員 (5施設の計)
		指標名 ( 2 )	1日当たり平均利用者数
		指標説明	年間延べ利用者数 ÷ 年間開園 (所) 日数 ( 6 施設の計 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	145	142	143	143	155	159	108.4	93.2	
活動指標 ( 2 )	2 人	31,126	32,000	31,541	32,000	32,774	33,000	102.4		
成果指標 ( 1 )	3 %	103.7	100	91.2	80	84.4	86	105.5		
成果指標 ( 2 )	4 人	128	128	134	132	135	143	102.3		
事業費	5 千円	125,313	180,194	164,099	216,519	201,745	201,970	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.43	0.43	0.42	0.41	0.40	0.44		
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	3,623	3,623	3,662	3,153	3,006	3,346		
	上記以外の職員	11 千円	309	309	308	308	363	363		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	129,245	184,126	168,069	219,980	205,114	205,679			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	891,345	1,296,662	1,175,308	1,538,322	1,323,316	1,293,579			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	129,245	184,126	168,069	219,980	205,114	205,679			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 207

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	重度身体障害者支援施設等運営助成		3	所	121,595
	重度知的障害者通所施設運営助成		3	所	68,772
	障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）		1	所	11,378
	その他（ ）				

事業実績

重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアにかかる非常勤職員人件費（指導医・看護師等）及び送迎バス運行に係る経費の一部を補助しています。  
 重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎に係る経費等の一部を補助しています。  
 通所施設の送迎サービス助成は、利用者が通所する際の経費の一部を助成しています。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>重度障害者通所施設の需要に応えるため、民間事業者による施設整備を図るとともに民間施設であっても公立施設と同等のサービスを提供し、安定的な運営を確保できるよう、運営費の一部助成を行っています。</p> <p>令和元年度から人工呼吸器管理障害者の受入れ施設に対し、看護師等の人件費の一部を補助しています。</p> <p>民間事業者からは、安定した運営確保のため、これまでの補助の継続について引き続き要望が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>障害者施設では、利用者の高齢化に伴った重度障害者の割合増加や、医療的ケアを要する利用者の受け入れ増加が予想されます。</p> <p>特別支援学校卒業生受け入れ先確保と障害者の日中活動場所を維持するため、運営費補助は継続して行われます。福祉サービスの質と量を確保しつつ、適正な補助に努めます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和元年度の重度身体障害者施設に続き、令和2年度には重度知的障害者施設が1施設新たに開設しました。</p> <p>令和2年度も1日当たりの平均利用者数は目標値を達成しており、新規施設の整備により年々増加しています。</p> <p>ただし、新規施設では特別支援学校の卒業生等の利用者の需要に対応のため、段階的に入所を行っている関係で、定員に対する登録者の割合は目標値を下回っています。</p>
評価と課題	<p>運営費の補助を引き続き行い、安定した施設運営とサービスの質を維持できるよう取り組んでいます。また、新規開設施設には開設から3年間は計画的入所を行うため、令和3年度も定員に満たない状態で運営を行います。利用者を制限している期間も安定した運営が維持できるよう、経過措置として補助を行っています。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>障害者施設利用者の状況を踏まえて、より適正なサービスの提供と質の確保のため、引き続き運営費の一部補助を行います。</p> <p>補助金の執行に際しては、実績報告書等により事業内容の把握及び運営状況の精査を行い、適正な補助金執行に努めます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00205 )

事務事業名称	障害者の就労支援事業				款	04	項	01	目	03	事業	034	整理番号	208	
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係	連絡先電話番号	2274			昨年度整理番号	210					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成16年度	実行計画事業	目標	04	施策	16	計画事業	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	就労を希望する障害者	根拠法令等	( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ( 2 ) 杉並区障害者職場実習実施要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行ない一般就労を進めていく。 障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。	活動指標	職場実習をした人数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	就労を希望する障害者に対し、障害者雇用支援事業団と連携して実習の場を提供する。 障害者施設の工賃の向上に必要なアドバイス等が受けられるカウンセリングの実施に加え、障害者施設で構成される任意団体 ( すぎなみ仕事ねっと ) への補助を行う。	指標名 ( 1 )	職場実習をした人数
		指標名 ( 2 )	すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数
		成果指標	民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数
		指標名 ( 1 )	民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数
		指標名 ( 2 )	区内障害者施設の平均工賃
		指標説明	区内27か所の就労継続事業所の総工賃額 ÷ 工賃を支払った人数 ( 令和2年度は推計値 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	23	55	19	55	15	55	27.3	52.4
活動指標 ( 2 )	2 人	301	330	215	330	172	330	52.1	
成果指標 ( 1 )	3 人	88	115	135	115	96	120	83.5	
成果指標 ( 2 )	4 円	14,698	15,751	14,887	16,078	15,483	16,154	96.3	
事業費	5 千円	1,222	1,585	1,178	1,677	878	1,600	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	執行率90%未満の理由	
( 内 ) 委託費	7 千円	19	2	1	2	0	0	職場実習への参加者の減少による実習奨励金の残、すぎなみワークチャレンジ事業の廃止による予算未執行の残です。	
職員数	8 人	1.51	1.97	2.20	1.88	1.65	1.80		
	9 人	7.00	3.00	3.00	2.00	2.00	2.00		
人件費	10 千円	12,723	16,599	19,180	16,390	14,030	15,305		
	11 千円	21,623	9,267	9,240	6,160	7,256	7,256		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	35,568	27,451	29,598	24,227	22,164	24,161		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	1,546,435	499,109	1,557,789	440,491	1,477,600	439,291		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	35,568	27,451	29,598	24,227	22,164	24,161		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 208

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	職場実習の実施		15	人
	障害者施設の工賃アップ支援	1	式	747
	その他 ( )			

事業実績

職場実習については、体験型9名、実践型4名、令和2年度に新設したチャレンジ型2名、計15名の参加がありました。  
 障害者施設の工賃アップ支援では、「すぎなみ仕事ねっと」の運営支援、庁内からの優先調達の推進に取り組み、平均工賃は令和元年度より600円ほど増加しました。  
 なお、令和2年度から会計年度任用職員（短時間・障害者）の採用を実施したため、「すぎなみワークチャレンジ事業」は、廃止しました。

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>職場実習は平成16年度より区役所での実習受け入れを開始、その後、区内企業にも体験の場を広げてきました。近年、民間の就労移行支援事業所の増加に伴い、サービス利用の中でも実習を行えるようになる中、区の事業としての本事業には、より重度の方の体験の場や特性に合わせた実習先の確保など、新たなニーズに応えることが期待されています。</p> <p>工賃アップ支援としては、区内の障害者就労支援事業所で構成される任意団体「すぎなみ仕事ねっと」の運営支援を行っています。仕事ねっとについては、参加事業所のより主体的、自主的な運営が求められています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>職場実習は、民間事業所における実習ではまかなえないニーズに応えるため、短時間型、より長期間で実践的なチャレンジ型の人数増を目指します。また、体験できる職種についても拡充していきます。</p> <p>工賃アップについては、庁内各課からの優先調達を通して更なる受注を目指すとともに、自主活動においてもネットショッピングへの参入や販路拡大を進めていきます。また、各施設の支援員、受注方法等、セミナーを通し民間企業からのノウハウを取り入れながら、技術向上に努めます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>職場実習については、コロナ禍の影響により実習を受けた人数は減少していますが、より長期間、実践に近い形を想定したチャレンジ型実習を2名受け入れ、民間事業所ではまかなえないニーズに応えることが出来ました。</p> <p>仕事ねっと定例会は、コロナ禍の影響及び開催方法の見直しにより参加者は減少となりました。しかし、受注作業を請け負うグループを中心にした開催とし、自主製作を行うグループは販売会開催時のみに話し合いを行うことで、短時間で目的に沿った話し合いができました。平均工賃は、目標値には達成していないものの、コロナ禍の中でも各作業所の努力により上昇しています。</p>
評価と課題	<p>職場実習については、目標人数には達しないものの民間事業所ではまかなえないニーズに応えており、また、更なる事業利用の促進を図るため、雇用支援ネットワーク会議で実習経験者のインタビュー等を活用した事業説明を行っており、一定の評価が出来ます。</p> <p>工賃アップについては、仕事ねっと加盟施設へのアンケート実施により、加盟（参加）している目的の再確認と課題の抽出ができました。一方で、定例会の開催時間が遅いために参加できない施設も一定数あることが分かり、月ごとに開催時間を変更するなどの見直しを図っていきます。事務局に頼らない自主的な運営には至っていませんが、共同受注への積極的な参加等、徐々に主体的な活動へと変化が見られています。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>職場実習は幅広いニーズに応えるため、地域に根ざした中小企業・小売店など、受け入れ事業所の拡充を推進します。</p> <p>障害者施設の工賃アップは、「すぎなみ仕事ねっと」の定例会開催時間を早め、より多くの施設が参加できるよう運営の工夫に努めます。受注・自主活動ともに、積極的な参加を促し共同受注、庁内各課からの優先調達、販路拡大を進め、都度、費用対効果を検証しつつ補助金での運営を見直します。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00682 )

事務事業名称	障害者スポーツ等支援			款 04	項 01	目 03	事業 041	整理番号	211
現担当課名	障害者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1143	昨年度整理番号	213
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )			
令和 2年度担当課名	障害者施策課					事業評価区分	一般		

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内の障害者及びその関係者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者基本法第1条、第6条及び第25条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、障害者の社会参加の機会を拡大する。スポーツ・レクリエーションをとおして、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し合つ共生社会の実現を目指します。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数  パラリンピック体験イベント
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	障害者が参加しやすいスポーツ・レクリエーション事業を開催する。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、障害者がパラスポーツに親しめる機会を増やす。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	障害者スポーツ・レクリエーション参加者数  パラリンピック体験イベント参加者数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	2	4	2	4	1	5	25.0	57.6
活動指標 ( 2 )	2 回	0	0	0	3	0	1	0.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	40	150	192	150	31	150	20.7	
成果指標 ( 2 )	4 人	0	0	0	150	0	150	0.0	
事業費	5 千円	819	1,080	517	3,080	1,773	3,749	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和 2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定だったパラリンピック体験イベントが中止となり、スポーツ・体験イベントを縮小して1回開催したのみのため、執行残となりました。	
( 内 ) 委託費	7 千円	510	710	192	2,710	1,496	3,438		
職員数	8 人	0.72	0.50	0.79	0.80	0.70	0.80		
上記以外の職員	9 人	0.10	0.50	0.79	0.80	0.10	0.10		
人件費	10 千円	6,067	4,213	6,887	6,974	5,952	6,802		
上記以外の職員	11 千円	309	1,545	2,433	2,464	363	363		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	7,195	6,838	9,837	12,518	8,088	10,914		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	3,597,500	1,709,500	4,918,500	3,129,500	8,088,000	2,182,800		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	250	350	100	350	350		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	250	350	100	350	350	1,000	
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	6,945	6,488	9,737	12,168	7,738	9,914		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 211

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	障害者スポーツ・レクリエーション事業の実施	1	回	1,496
	その他 ( 啓発用事務費等 )			277
事業実績	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたパラリンピック体験イベント、スポーツレクリエーションの出前教室などはすべて中止となりました。一方で、感染防止で身体を動かす機会が減った、健康維持のため身体を動かしたいなどの声を多く受けたことから、障害特性に合わせて、誰もが楽しめ、かつ体力維持を図れるダンスを、理学療法士などの専門職と作り、オンラインで配信できる動画を制作しました。複数施設で同時に実施する動画を活用したイベントを企画し、感染症対策を講じながら普及啓発にあたりました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>平成26年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が令和2年 ( 2020年 ) に開催される旨の決定を受け、スポーツへの関心が高まるこの機会に障害者の社会参加の機会を拡大するため、平成27年度に障害者等にスポーツ・レクリエーションに関する調査を実施、平成28年度から障害者スポーツ・レクリエーション事業を開始しました。令和2年度開催予定であった東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルス感染防止により令和3年度に延期となりました。</p> <p>障害者からは、スポーツ施設に行くには移動の支援をしてほしい、普段通り慣れた場所などで事業を実施してほしいなどの声があります。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和3年に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定されています。そこで、パラリンピックを契機として、障害者が身近な地域でスポーツなど身体を動かす機会を増やせるような取り組みを行うこと、さらには新しい生活様式にあわせ、オンラインを活用した普及啓発イベントを行うことで、今までできなかった参加できなかった障害者への働きかけられることにより、より多く障害者に身体を動かす機会の提供が図れます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染防止により、予定していたパラリンピック体験イベント、スポーツレクリエーションの出前教室などはすべて中止となり、スポーツレクリエーションの体験会を縮小して一回のみの実施だったため、計画値を下回りました。</p>
評価と課題	<p>障害者のある人もない人も共に参加するスポーツ・レクリエーションの機会を増やすことは、障害者の社会参加を促進するとともに、地域の人々との交流により、障害への理解を深めるきっかけとなります。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催が困難な中、新たにオンラインにより普及啓発の取組を行いました。オンラインの活用は、体育施設などに出向くことができない障害者にも身体を動かす機会が提供でき、地域とつながるきっかけになるなど、障害者の社会参加の促進に向けた新たな効果が見込まれます。今後もオンラインを活用するなど、普段通っている施設や参加している団体など身近な活動場所で身体を動かす取組を広げていきます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>新しい生活様式の中で身体を動かす機会を増やせるよう、オンライン等を活用し、普段通っている施設や参加している団体など身近な活動場所から参加者を増やす取組を広げていきます。そして、身近な活動場所から、スポーツ・レクリエーションを通じて地域の様々な場所で障害のある方もない方も一緒に楽しめるよう事業の充実を図っていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00217 )

事務事業名称	障害者福祉会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	001	整理番号	221
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	221		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	障害者福祉会館及びその利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。	活動指標	施設の延べ床面積
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	保守委託契約件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 ( 1 )	1	m <sup>2</sup>	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	17,440	100.0	94.3	
活動指標 ( 2 )	2	件	9	9	9	9	0	0	0.0		
成果指標 ( 1 )	3										
成果指標 ( 2 )	4										
事業費	5	千円	24,646	30,308	24,545	32,002	30,177	31,160	特記事項		
(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7	千円	18,205	23,422	18,419	23,615	23,385	24,428			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	0.22	0.22	0.31	0.31	0.28	0.30		
	上記以外の職員	9	人	0.40	0.40	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	1,854	1,854	2,703	2,703	2,381	2,551		
	上記以外の職員	11	千円	1,236	1,236	308	308	363	363		
総事業費 (5+10+11)	12	千円	27,736	33,398	27,556	35,013	32,921	34,074			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	15,904	19,150	15,800	20,076	18,877	1,954			
財源	受益者負担分	14	千円	32	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	2,381	0		
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	32	0	0	0	2,381	0		
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	27,704	33,398	27,556	35,013	30,540	34,074			
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（Do）

整理番号 221

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託		1	所
	光熱水費の支出	1	所	4,703
	維持管理等（自動水栓化含む）	1	所	2,089
	1階誰でもトイレ改修	1	所	4,763
	その他（通信運搬費）			514

事業実績

建物の保守管理や定期清掃等の維持管理は、1階の杉並区障害者雇用支援事業団・3階の杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）と連携して担っています。令和2年度は、1階の誰でもトイレ改修や、感染対策として手洗い場の水栓自動化を行い、利用しやすい環境を整えました。

## 令和 2年度 評価と課題（Check）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	運営委託先の障害者福祉会館運営協議会と連携し、施設の保守等に取り組んでいます。しかし、施設の老朽化で毎年修繕をする箇所があります。これからも計画的に修繕や設備の交換を行い、障害者利用に配慮した安全性を確保できるよう適正な維持管理を実施します。

## 令和 4年度の方針（Action）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		



# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00683 )

事務事業名称	視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	222
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	222		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和27年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	視覚障害者会館及びその利用者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 ( 2 ) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。	活動指標	施設延床面積
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。	指標名 ( 1 )	保守委託契約件数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 m <sup>2</sup>	167	167	167	167	167	167	100.0	92.0	
活動指標 ( 2 )	2 件	4	4	4	4	4	4	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	1,662	1,861	1,679	2,030	1,868	1,861	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円									
(内) 委託費	7 千円	940	1,049	960	1,037	978	1,128			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10		
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	927	927	872	872	850	850		
	上記以外の職員	11 千円	309	309	308	308	363	363		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	2,898	3,097	2,859	3,210	3,081	3,074			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	17,353	18,545	17,120	19,222	18,449	18,407			
財源	受益者負担分	14 千円								
	国からの補助金等	15 千円	289	671	256	598	265	602		
	都からの補助金等	16 千円	144	335	128	299	132	301		
	その他の補助金等	17 千円								
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	433	1,006	384	897	397	903		
	差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	2,465	2,091	2,475	2,313	2,684	2,171		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %									

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 222

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託			805
	光熱水費の支出			657
	維持管理等			406
	その他（ ）			
事業実績	視覚障害者会館の維持管理は、業務を委託しているNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、施設の安全と快適性の確保に努めています。			

## 令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携をして、視覚障害者の立場に立った施設の保守管理に努めています。 施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、計画的な改修や設備の交換等を行っています。

## 令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00218 )

事務事業名称	障害者交流館維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	223
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	223		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	施設延床面積 ( 2施設合計 )  保守委託契約件数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 m <sup>2</sup>	693	693	693	693	693	693	100.0	88.2	
活動指標 ( 2 )	2 件	1	1	1	1	1	1	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	5,495	5,972	5,391	6,469	5,706	6,929	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算執行率が90%未満となった理由 新型コロナウイルス感染症対策に係る国の緊急事態宣言発出に伴い、和田及び高円寺障害者交流館の休館や利用制限を実施したことにより、光熱水費等が減少しました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	3,324	3,765	3,543	3,651	3,538	4,697			
職員数	8 人	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10			
上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10			
人件費	10 千円	927	927	872	872	850	850			
上記以外の職員	11 千円	618	618	308	308	363	363			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	7,040	7,517	6,571	7,649	6,919	8,142			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	10,159	10,847	9,482	11,038	9,984	11,749			
財源	受益者負担分	14 千円	542	550	575	550	172			550
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	375			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	542	550	575	550	547	550		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	6,498	6,967	5,996	7,099	6,372	7,592			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	7.7	7.3	8.8	7.2	2.5	6.8			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（Do）

整理番号 223

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託			
	光熱水費の支出	2	所	1,793
	維持管理等	2	所	62
	新型コロナウイルス感染症対策費（和田障害者交流館自動水栓化）			375
	その他（ ）			
事業実績	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携して行っています。障害者交流館には、福祉事務所や区民集会所等、併設している施設があることから、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として、和田障害者交流館のトイレの自動水栓化を行いました。また、財源の一部である高円寺障害者交流館の目的外使用料については、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設を利用する回数や利用者が大幅に減少したことから、目的外使用料が減少しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（Check）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携をして、施設の保守管理に努めています 今後も主な施設利用者である障害者の視点から施設の安全安心な環境づくりに努めていきます。</p>

## 令和 4年度の方針（Action）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00219 )

事務事業名称	障害者施設運営	款	04	項	01	目	06	事業	004	整理番号	224
現担当課名	障害者生活支援課	係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	224	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分	既定事業				
事業開始											
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課					事業評価区分	その他簡易な評価				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区が有する障害者福祉施設等 (生活圏を除く)	根拠法令等	( 1 ) 契約事務規則 ( 2 ) 会計事務規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標	障害者生活支援課本庁職員
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務経費 (区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、区立障害者施設職員の腸内細菌検査、研究会負担金等) の支援を行う。	指標名 ( 1 )	需用費 (一般需用費) 合計
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	10	11	11	10	10	10	100.0	95.1	
活動指標 ( 2 )	2 円	6,981	1,562	1,501	2,528	2,517	1,062	99.6		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	12,423	6,177	5,965	7,505	7,140	6,269	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	2,435	1,907	1,804	2,130	2,064	2,360			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.54	0.54	0.31	0.31	0.27	0.41		
	上記以外の職員	9 人	0.40	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	4,550	4,550	2,703	2,281	1,900	3,091		
	上記以外の職員	11 千円	1,236	1,236	1,540	1,540	1,814	1,814		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	18,209	11,963	10,208	11,326	10,854	11,174			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,820,900	1,087,545	928,000	1,132,600	1,085,400	1,117,400			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	18,209	11,963	10,208	11,326	10,854	11,174			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（Do）

整理番号 224

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	樹木委託管理等			
	光熱水費（あすなる作業所）の支出			2,500
	一般購入・施設修繕等			2,549
	腸内細菌検査委託			217
	その他（研究会負担金、報償費、事務費ほか）			59
事業実績	各施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の一括購入のほか、各生活園の事業運営において維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定や区立障害者施設職員の腸内細菌検査を業務委託により実施しています。			

## 令和 2年度 評価と課題（Check）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	区有施設はいずれも建物の老朽化が進んでおり、小規模修繕に加え設備の改修が増えています。計画的に修繕等を行ない施設の安全維持向上を図ります。また、不要不急な経費や必要性の薄れた経費の支出について、常に見直しを行い適正な経費の支出に努めます。

## 令和 4年度の方針（Action）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00220 )

事務事業名称	すぎのき生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	225
現担当課名	障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	225		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和55年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	すぎのき生活園の利用者	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	延べ床面積 保守委託契約件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明	成果指標	
		指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明		

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 m <sup>2</sup>	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0	95.6	
活動指標 ( 2 )	2 件	12	12	12	12	12	12	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	25,860	25,803	24,474	26,889	25,704	27,841	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	14,509	15,518	15,011	15,910	15,612	16,311			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.83	1.83	1.81	1.81	2.01	2.00		
	上記以外の職員	9 人	2.20	2.20	2.30	2.30	2.30	2.30		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	15,420	15,420	15,780	15,358	16,588	16,647		
	上記以外の職員	11 千円	6,796	6,796	7,084	7,084	8,344	8,344		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	48,076	48,019	47,338	49,331	50,636	52,832			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	19,768	19,745	19,465	20,284	20,821	21,724			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	48,076	48,019	47,338	49,331	50,636	52,832			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 225

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託	1	所	14,544
	光熱水費の支出	1	所	8,003
	維持管理等	1	所	3,157
	その他（ ）			
事業実績	<p>すぎのき棟築41年、けやき棟築28年が経過し、施設の設備や機器に不具合が生じており、すぎのき棟では、冷却水保温ヒーター交換、非常用発電機蓄電池交換、受水槽バルブ交換、活動室ドア交換、LED化、けやき棟では厨房水栓不良修理、トイレ便座交換、厨房厨房温水器交換、LED化など修理を段階的に行ってきました。その他予算内の修繕費では対応できない工事は管繕課に依頼し、すぎのき棟空調機器全面交換と手すりの全面取り換えを行いました。また、2年度にはすぎのき棟の外壁補修工事、けやき棟の非常扉交換工事を実施しました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>利用者の3分の1以上が知的障害と身体障害の重複障害者ですが、施設の仕様が身体障害者の利用に対応していない現状があります。また、車椅子や杖歩行等の利用者と動きの激しい利用者が同じスペースで活動することは、接触事故等の危険があること、利用者への活動制限にもつながることから、障害の状況に応じたスペースの確保や適切な設備の設置に努めています。</p> <p>すぎのき棟の建物は築40年を超え、毎年設備交換を行っているものの、水道配管の不具合をはじめ大規模な改修が必要となっています。しかし、利用者の障害特性から運営しながらの改修や運営の一時休止は困難なことから、改修方法等について関係課と協議をしています。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>施設の老朽化に伴い修理・修繕を要する箇所が増え続けています。元年度にはけやき棟のエレベーター全体交換の必要性が業者より指摘がありました。また、すぎのき棟トイレの大規模改修など修繕費用がかかる工事など所管課や管繕課とも協議しながら優先順位をつけて計画的に進めていく必要があります。その他、園の維持管理予算で対応していくメンテナンスや修繕についても3年度より予算を拡充していますが、今後も計画的に必要な規模で予算を計上し施設の安全管理に努めます。</p>	



# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00221 )

事務事業名称	こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	226
現担当課名	障害者生活支援課		係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	226		
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 5年度												
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	こすもす生活園の利用者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	施設の延床面積 保守委託契約件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 m <sup>2</sup>	794	794	794	794	794	794	100.0	96.9	
活動指標 ( 2 )	2 件	8	8	8	8	8	8	100.0		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	9,897	8,407	7,706	8,910	8,630	8,983	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	4,599	4,446	4,343	4,528	4,413	5,046			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.51	1.51	1.83	1.81	1.86	1.70		
	上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	8,691	8,691	11,650	15,358	15,420	14,096		
	上記以外の職員	11 千円	618	618	924	924	1,088	1,088		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	19,206	17,716	20,280	25,192	25,138	24,167			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	24,189	22,312	25,542	31,728	31,660	30,437			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	19,206	17,716	20,280	25,192	25,138	24,167			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 226

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	施設保守管理委託			3,956
	光熱水費の支出			2,960
	維持管理等			1,714
	その他 ( )			
事業実績	<p>施設は、開設から30年近く経過し、設備機器の老朽化が顕著となっています。適宜、機器の修繕や交換を行い、施設の安全管理に努めています。令和2年度は、給湯器の交換、ストレッチャー、浴室リフト、インターホン、換気扇などの修理を行いました。</p>			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	
評価と課題	<p>平成5年の開設より28年を経過し、設備面の老朽化が目立っています。小規模修繕は、速やかに対応していますが、大規模修繕は、関係課と協議し計画的に行なっています。</p> <p>令和3年度は、エレベーターの工事が入ることになっています。</p> <p>また、障害の重度化により利用者の車いすが大型化していますが、施設設備が対応していないことから、活動範囲が限られています。施設の大幅な改修は困難ですが、利用者状況に配慮した環境の整備に努めます。</p>

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>平成5年の開設から、30年近く経過し設備面の老朽化が目立っています。大規模修繕は難しいとしても、利用者が、安全で気持ちよく過ごせる環境を確保しなくてはなりません。施設設備等の不具合に対して早期に修繕や交換などの対応に努めていきます。</p>	

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00222 )

事務事業名称	なのはな生活園の維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 007	整理番号	227
現担当課名	障害者生活支援課	係名	なのはな生活園	連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	227	
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成 9年度								
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	なのはな生活園の利用者	根拠法令等	( 1 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 ( 2 ) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。	活動指標	施設延べ床面積
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	保守委託契約件数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 m <sup>2</sup>	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0	89.2
活動指標 ( 2 )	2 件	10	10	10	10	10	10	100.0	
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	17,801	12,658	12,101	13,125	11,701	13,246	特記事項 執行残の主なものは光熱水費の残によるものです。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	7,140	6,071	5,720	6,674	5,817	6,826		
職員数	8 人	1.79	1.72	1.81	1.81	1.86	1.70		
上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30		
人件費	10 千円	15,083	14,493	15,780	15,358	15,420	14,096		
上記以外の職員	11 千円	618	618	924	924	1,088	1,088		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	33,502	27,769	28,805	29,407	28,209	28,430		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	32,877	27,251	28,268	28,859	27,683	27,900		
財源	14 千円	6	4	3	5	3	5		
国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	6	4	3	5	3	5		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	33,496	27,765	28,802	29,402	28,206	28,425		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 2年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 227

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	施設保守管理委託			5,342
	光熱水費の支出			4,392
	維持管理経費等			1,967
	その他 ( )			
事業実績	設置後21年が経過し空調設備の老朽化による修理を4回、照明機器の修理を4回行いました。 その他、施設整備及び備品等の不具合には、修繕や買替等により早期対応しています。			

## 令和 2年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	
評価と課題	開設から21年が経ち、施設や設備の老朽化が見られます。利用者が安全で快適に過ごせるように、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を随時行っています。 今後も障害が重い利用者の増加が予想されます。安全で安定したサービスを提供するため買替の時期に合わせて新たな介護機器の導入も含め施設環境の整備に努めます。

## 令和 4年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	
	II 事業の改善の方向性	
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00231 )

事務事業名称	障害者入所・通所施設の整備				款	04	項	01	目	07	事業	004	整理番号	237	
現担当課名	障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	2277		昨年度整理番号	236					
上位施策No・施策名	16 障害者の社会参加と就労機会の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成11年度	実行計画事業	目標	04	施策	16	計画事業	01							
令和 2年度担当課名	障害者生活支援課								事業評価区分	一般					

## 令和 2年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	障害者通所施設を整備する社会福祉法人	根拠法令等	( 1 ) 社会福祉法第6条 ( 2 ) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	重度障害者の日中活動の場を確保するため、生活介護事業等を行う通所施設の整備を進め、障害者の豊かな地域生活を実現する。	活動指標	区内重度障害者通所施設の数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区有地等を活用し、社会福祉法人が整備する障害者通所施設に対し、整備費を助成することにより、重度障害者の日中活動の場を確保する。 令和2年度未現在、区内では重度障害者の通所施設10施設 (知的5、身体5・うち7施設は民間施設) を運営している。	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	区内重度障害者通所施設の数
		成果指標	区内重度障害者通所施設の受入者数
		指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 所	8	10	10	10	10	10	100.0	99.2	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 人	201	231	221	243	241	241	99.2		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	49,762	109,161	91,115	40,434	40,117	40,006	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	54	110	0	110	0	110			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.03	1.14	1.02	0.42	0.70	0.60		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	6,283	7,210	6,361	3,662	5,952	5,102		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	1,848	2,177	2,177		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	56,045	116,371	97,476	45,944	48,246	47,285			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	7,005,625	11,637,100	9,747,600	4,594,400	4,824,600	4,728,500			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	56,045	116,371	97,476	45,944	48,246	47,285			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 237

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	すだちの里杉並・運営法人への償還金助成		1	所
	マイルドハート高円寺・運営法人への償還金助成	1	所	22,075
	その他（ ）			

事業実績

重度障害者支援施設等を整備・運営している社会福祉法人に対し、借入償還金の一部助成を行いました。

## 令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう重度障害者の入所・通所施設の整備を行っています。施設整備にあたっては、運営法人等の負担軽減のため、整備費等の助成を行っています。これまでに入所・通所施設5所を整備しています。</p> <p>特別支援学校の在校生の父母からは、卒業後の日中活動の場として、通所施設の整備に対する要望が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>特別支援学校の卒業予定者数の実態等を踏まえて、新たな施設の整備を進めていきます。また身体障害者施設では、特別支援学校の新卒者に加え中途障害者からの利用希望が増加傾向にあるので、今後の需要予測を見込むと更なる受け入れ施設の整備が必要です。医療的ケアが必要な利用者の増加にも対応していきます。施設整備にあたっては引き続き区有地に加えて国や東京都の公有地の活用や運営法人等の負担軽減のため整備費等の助成を継続し、用地確保や運営法人等への支援をすることで進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>区内重度障害者通所施設の受入者数は、「しもたか希望の家ibuki」が令和2年度4月から生活介護事業を開始したことで20名増となりました。今後は、特別支援学校の卒業生の状況等を踏まえて計画的に受け入れ者数を増やしていきます。</p>
評価と課題	<p>今後、特別支援学校の卒業生をはじめとした需要予測に対し通所施設が不足とみこまれるため、久我山一丁目都有地を活用し、重度知的障害者通所施設と高齢者施設の併設施設を計画し運営事業者公募を行いました。コロナ禍の影響もあり不調となりました。今後は、喫緊の課題である障害者施設の整備を基本に東京都との調整のうえ計画を見直し早期に運営事業者の公募を行います。</p> <p>また、障害者施設の整備にあたり課題となっている用地の確保や整備経費について、区有地等の活用とともに、国・都の補助金の活用、更に区独自の運営費加算などを助成することで、整備・運営する法人を支援をし施設整備を推進します。</p>

## 令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>都有地を活用した重度知的障害者通所施設の整備を進め、令和3年度に整備・運営事業者の再応募を行い事業者を決定し、令和7年度開設を目指します。</p> <p>施設の整備には、区から整備費用の一部助成や運営費の区独自加算をすることで、整備・運営を行う法人の負担軽減を図ります。</p>	